

機関番号：32303

研究種目：研究活動スタート支援

研究期間：2009～2010

課題番号：21820034

研究課題名（和文） 18 世紀北米自然誌の生成論的研究-ロンドン王立協会を中心に

研究課題名（英文） A Generative Study of Natural History of North America in the 18th Century Royal Society of London

研究代表者 佐藤 憲一 (SATO KENICHI)

研究者番号：80548355

研究成果の概要（和文）：

本研究は、王立協会が形成した環大西洋ネットワークを、北米自然誌が生成するトポスとみなし、そこで自然誌の書法がどのように制度化されていたかについて考察を加えた。アメリカ合衆国での一次資料調査・収集、および、関連する二次資料の収集により、実証的かつ理論的枠組みの形成がなされつつある。

研究成果の概要（英文）：

This study first considered Royal Society's transatlantic network in the early modern period to be the venue to generate natural histories of North America, and then revealed the nature of the Society's institutionalization of the natural history. Researches both in primary and secondary materials in the United States, the study successfully formed the framework in which future study will be done effectively.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2009 年度	930,000	279,000	1,209,000
2010 年度	900,000	270,000	1,170,000
年度			
年度			
年度			
総計			2,379,000

研究分野：18 世紀環太平洋自然誌

科研費の分科・細目：文学・英米・英語圏文学

キーワード：ロンドン王立協会 自然誌 植民地期アメリカ文学

1. 研究開始当初の背景

従来、植民地時代のアメリカ文学研究の焦点は、専らピューリタン・ライティングに絞られることが多かった。そこでは、ジョン・ウインスロップやコットン・マザー、ベンジャミン・フランクリンらのテキストから抽出される〈ピューリタンの精神〉こそアメリカ文学のルーツであるという考えが、ある程度の説得力をもって受け入れられてきた。もちろん、*Columbia Literary History of the United States* の出版（1988 年）以降、こうした明確な「ルーツ」に対する違和感は、多

くの研究者によって共有されてはいた。しかし、研究開始の時点で「ルーツ」それ自体は完全に相対化されているとは言い難かった。こうした状況を踏まえ、本研究は、植民地期アメリカ文学研究が等閑視してきた北米自然誌こそが、実はアメリカ文学のピューリタン起源説を相対化する潜在力を有するジャンルである、という仮説を検証するため企図された。

2. 研究の目的

(1) 長らく所与の要件として考えられてきたアメリカ文学における〈自然〉の書法が独立以前にすでに制度化されていたことを指摘し、その制度化のありようを、ロンドン王立協会の北米自然誌蒐集プロジェクトという環大西洋ネットワークを考察の中心に据えて解明して行く。

(2) 17世紀後半から独立までの環大西洋地域における北米自然誌を、アメリカ文学のピューリタン起源説を相対化する新機軸として捉えなおす。

3. 研究の方法

(1) 合衆国議会図書館、アメリカ公文書館に赴き、18世紀に『フィロソフィカル・トランザクションズ』誌上に掲載された北米の自然に関する記事を網羅的にリストアップする。

(2) 入手資料に分析を加え、アメリカ自然詩の書法を解明する個別の作業に着手する。その手順は次の通りである。①『フィロソフィカル・トランザクションズ』誌上に掲載されたテキスト(=本文)とテキストのもとになった書簡のテキストを比較・照合し、書簡から記事になる過程で改変や削除がないか、確認する。書簡に関しては、著者によってはアクセスできない場合も考えられる。そのような記事はやむを得ず研究の対象から除外するが、多くの場合18世紀に同誌に投稿したのはある程度の身分の人物が多かったため、何らかの形で書簡が残存している場合が多い。これまでの研究のプロセスでは、8割以上の確率で書簡にアクセスできている。②削除や改変が認められた場合、その理由と効果とを解明する。その際、書簡の書き手と受け手の関係性や政治的背景、社会的地位等を考慮に入れる。また、削除や改変が認められない場合も、なぜ改変・削除が施されなかったのかという観点から、同様の分析を加える。個々の記事についてこうした分析を積み重ねてゆくことで、北米自然誌をめぐる記事においてどのような書法が是とされていたかが、実証的に明らかになる。

4. 研究成果

(1) 資料調査及び分析により、初期近代の環大西洋地域における北米自然誌の書法が、19世紀以降におけるアメリカ文学の〈自然〉の書法にいかなる寄与をしたのかが解明された。

(2) 同じく、従来未発掘の資料の分析により、環大西洋地域における北米自然誌という従来未検証のジャンルそれ自体がどのような特性を持っていたか、についても、明らか

になりつつある。

(3) 北米自然誌の書法やジャンル特性と、同時代のイングランドで書かれた紀行文学や書簡体小説との相同性と差異の分析から、初期近代イギリス文学、とりわけ散文フィクション生成の土壌について、明らかになりつつある。

本研究はイングランドで出版された北米自然誌を考察の対象とするため、本研究の成果として得られた知見は、植民地期アメリカ文学研究のみならず、初期近代イギリス文学の研究、とりわけ散文フィクションの生成論的研究にも及ぶことになるだろう。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計1件)

佐藤憲一「手術で蒙を啓く—チャールズ・ブロックデン・ブラウン『オーモンド』における「旅する眼医者」のパフォーマンス」(単著)『英文学研究 支部統合号』第3巻、日本英文学会編、2010年、21頁-36頁

〔学会発表〕(計1件)

佐藤憲一「“American Curiosities”の作り方」2010年1月7日 於専修大学 日本英文学会関東支部例会

〔図書〕(計0件)

〔産業財産権〕

○出願状況(計0件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

出願年月日:

国内外の別:

○取得状況(計◇件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

取得年月日:

国内外の別:

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

佐藤 憲一 (SATO KENICHI)

共愛学園前橋国際大学国際社会学部・講師

研究者番号：80548355

(2) 研究分担者

()

研究者番号：

(3) 連携研究者

()

研究者番号：